



みらい 未来をつくる

徐 文旭
(ジョ ブンキョク)

しゅっしんち ちゅうごく
出身地：中国

わたし じょ ぶんきょく もう さくねん がつ ちゅうごく き にほん たいけん とお
こんにちは。私は徐文旭と申します。昨年5月に中国から来ました。これから、日本での体験を通
かんが りゅうがく い ぎ りゅうがくせい ほっぴょう ねが
して考えた、留学の意義と留学生ができることについて発表します。どうぞよろしく願いいたし
ます。

わたし りょうこう ず さくねん がつ かとりじんぐう さわら さんか あび こし す ほか
私は旅行好きで、昨年10月には、香取神宮と佐原へのツアーに参加し、我孫子市に住んでいる他
にほん かたがた にほん き いらい はじ りょうこう
の日本の方々と、日本に来て以来、初めてのバス旅行をすることになりました。

かとりじんぐう ひ しゃしん と ひる ちか いそ さわら
香取神宮で、おみくじを引いたり、写真を撮ったりしたあと、お昼が近づいていたので、急いで佐原
い ややく い ふつう いんしょくてん おも つ
に行き、予約していたレストランに行きました。普通の飲食店だと思っていたのですが、着いたとき、
ちよっとびっくりしました。その周りの他の江戸風の建物も相まって、外から見るだけでも古風で、ド
あ はい そうぞう とお かべ たか かみだな たてもん ささえ
アを開けて入ってみると、そこも想像の通りでした。壁の高いところにある神棚や、この建物を支え
はしら かざ そうしょく ねんだいもの おし
る柱や、飾られているさまざまな装飾が、このレストランが年代物であることを教えてくれるかのよ
うでした。それを見ながら、どんなランチかな？と期待していました。

りょうこう せきにんしゃ かかりいん お おく ひと
バス旅行の責任者とレストランの係員とのやりとりが終わって、レストランの奥にもう一つドアがあ
ることに気づきました。そのドアを開けると、また大きな部屋になっていました。中はヨーロッパ風の
き あ おお へ や なか ふう
内装で、ヨーロッパ風のテーブルと椅子が置いてありましたが、扉の手前の古風で日本風な空間とう
ないそう ふう い す お とびら てまえ こふう にほんふう ぐわん
まく調和していて、違和感を感じさせませんでした。あっ言い忘れましたが、そこはフランス料理店
です！

しょくじ お あと どうこう にほんじん ほな わたし
食事を終えた後、同行していた日本人のおじいさんとこのレストランについて話しました。私は
「なぜこのレストランでは2つのスタイルが受け入れられるのか」という疑問を投げかけました。おじ
かべ たか かみだな み なにひやくねん まえ せいよう ぶんめい にほん はい
いさんは壁の高いところにある神棚を見ながら、「何百年も前に西洋からの文明が日本に入ってきて、
にほん ぶんめい と あ いま にほん おお えいきょう あた けんちく
日本のもともとの文明と溶け合って、今の日本に大きな影響を与えている。このレストランの建築ス
たいるもその影響かもしれない」と答えてくれました。その話を聞いて、何かがわかったように感じ
ました。

じつ わたしたち こと こていかんねん も なん
実は、私達はある事についてずっとひとつの固定観念を持っていて、どんなものもすべて何にも
か ほう かんが じっさい しゃかい ほってん しんぽ ともな
変わらない方がよいと考えがちではないでしょうか。しかし実際には、社会はその発展と進歩に伴っ

て、多くの新鮮なものや文化を必要としています。そうした新しいものと既存のものを融合させることも、意外な効果があるかもしれません。あの佐原の素敵なレストランのように。

国際関係も同じで、現状維持では進歩も発展ありません。ですから、私は中日友好のために何ができるかをいつも考えています。今、世界中で国際関係が緊張しているのは、中国と日本も同じです。しかし、中国には、私のように両国の友好交流と平和を望む人もたくさんいると思います。起こったことを変えることはできないから、未来を作っていこうと思って、この大会に参加しました。

平和と友好を願う中国の若者の思いを一人でも多くの日本人に伝えるように、頑張ります。

私はたった一人ですが、一人の火種が火を起こすことができる、火種となって中日文化交流の火を大きく成長させることもできると信じています。私は、この情熱を持ち続けること中日両国の友好と交流に貢献する留学生としてできることだと思えます。

以上で発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。